

# 20-1高分子と水・分離に関する研究会

## 2020年度界面動電現象研究会

### 主題 =凝集

<趣旨> 「凝集」は生体内の分子間、組織間、微生物の個体間、生物材料の利用、さらには環境中の水文学的な物質移動に至るまで、様々なレベルで注目される現象です。空間や時間のスケールが異なっても、また分野や対象が異なっても、「凝集」に着目することによって、新たな神秘性や有用性を見出すことができるのではないかと考えられます。今回はこの点に注目し、「凝集」という名のシンポジウムを開催することにしました。講演ではまず、生体分子や微生物など生命現象における重要性について話題提供いただきます。高分子やコロイドの世界では、凝集の捉え方は、(平衡論)クリスタル→コアセルベート→アモルファス(速度論)である程度区分されています。速度論から平衡論への展開はオランダのコロイド界面科学の創始者のひとりである **Kruyt** のテキストの構成にもなっています。以上をヒントに「凝集」の可能性について議論を深めたいと思います。

**主催** 高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会  
**共催** 界面動電現象研究会  
**協賛** (予定)応用物理学会 化学工学会 色材協会 繊維学会 日本繊維機械学会 電気化学会 土壤物理学会 日本化学会 日本化学会コロイドおよび界面化学部会 日本食品科学工学会 日本農芸化学会 日本分析化学会 日本水環境学会 日本薬学会 日本油化学会 日本レオロジー学会 筑波大学生物資源コロイド工学リサーチユニット 他

**日時** 令和3年3月5日(金) 9:40 ~17:00  
**会場** オンライン開催

#### プログラム

- <9:40~9:50> 開会挨拶 (界面動電現象研究会) 小林 幹佳  
<9:50~11:20> 座長 野村 暢彦  
1) 生命現象における生体高分子の凝集と相分離 [リモート講演]  
(京都大学大学院工学研究科) 秋吉 一成  
<13:00~14:00> 座長 足立 泰久  
2) 凝集から考える微生物生態  
(JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト) 野村 暢彦  
<14:20~15:20> 座長 小川 和義  
3) セルロース系素材における分子レベルでの分散・凝集状態 —解析と制御—  
(東京農業大学) 石井 大輔  
<15:40~16:40> 座長 大島 広行  
4) 凝集をコアに展開する土壌・水環境のエンジニアリングサイエンス  
(筑波大学生命環境系) 足立 泰久  
<16:50~17:00> 閉会挨拶 (高分子と水・分離に関する研究会) 四方 俊幸

#### 参加要領

- 1) 定員 80名
- 2) 参加費(税込) 企業 11,000円 大学・官公庁 5,500円 学生 2,200円  
名誉会員・終身会員・フェロー・ゴールド会員・シニア会員 2,200円  
**高分子と水・分離に関する研究会メンバー 無料**
- 3) 申込方法 高分子学会行事申込サイト <https://member.spsj.or.jp/event/>にてお申込ののち、参加費を3月5日までに振込ください。
- 4) 振込先 銀行振込<三菱UFJ銀行銀座支店(普通)1126232 公益社団法人 高分子学会>  
郵便振替<00110-6-111688 公益社団法人 高分子学会>  
※振込手数料は振込人にてご負担くださいますようお願いいたします。
- 5) 受付 受理通知メールを出力して当日受付でご提示ください。  
※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**問合せ先** 高分子学会 20-1 高分子と水・分離に関する研究会係  
〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F  
電話 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737